

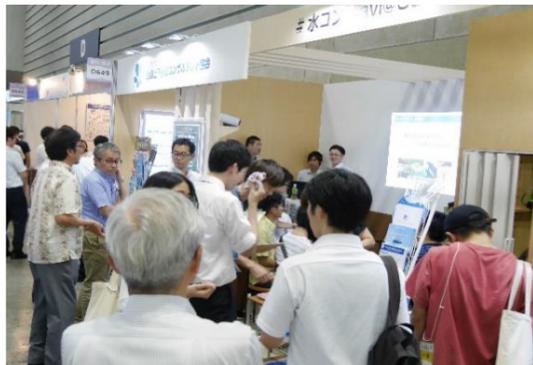
5 環境保全と社会貢献

1. 環境保全と社会貢献

一般市民や子供も参加する水環境保全等の社会貢献活動や、広報活動を共催又は協賛することにより、上下水道の水環境保全における役割等についての理解促進を図っています。

2. 下水道展への出展

令和2年度は中止となりましたが、毎年「下水道展」に出展し、広く一般の方や学生の方などにわかりやすい展示、説明を行っています。カフェスタイルの入りやすいブースなどにより、多くの方に来訪いただいています。



出展ブースの様子（令和元年度）

6 資質向上

「働き方改革関連法」が施行され、水コン協会員の企業においても様々な取り組みが行われています。水コン協では、令和元年度、2年度と2か年にわたり「働き方改革セミナー」を開催し、働き方改革の概要および企業の取り組み状況について、外部の専門家講師による講演と会員企業による取組みの説明を行い、意見交換しました。



働き方改革セミナーの様子



Association of Water and Sewage Works Consultants Japan

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会（水コン協）
東京都荒川区西日暮里5丁目26番8号 スズヨシビル7階 〒116-0013

TEL:03-6806-5751 FAX:03-6806-5753 <https://www.suikon.or.jp>



令和2年度の主な活動

1 第二期中期行動計画(2019-2021)に基づく主要行動

「新しい時代に魅力ある水コンサルタントをつくる」をキーコンセプトとする第二期中期行動計画（2019-2021）に基づき、「水システムを通して地域・都市を豊かに」を始めとする10の主要行動を推進しています。

2 人材確保・育成支援に係る活動の展開

働き方改革関連法の施行により、時間外労働の上限規制が会員に適用されています。事業体に対しても、要望と提案活動の中で、コンサルタントの就業環境改善について、適正な工期確保とウィークリー・スタンスの実施の協力をお願いしました。また、人材確保策として、水コンサルタントの広報のための動画コンテンツを作成し、インターネットを利用して配信しています。

3 災害時支援に係る活動の強化

令和2年度末で事業体との災害時支援協定の締結が49団体（都道府県との一括協定8件を含む。一括協定参加の市町村を含めると357団体。）となりました。令和3年2月の福島県沖地震の際は、地震直後に宮城県と協定が締結され、被災した上下水道施設の復旧にあたり、災害時支援協定に基づいた災害時支援を行いました。

4 支部活動

- 北海道支部
 - ・上下水道技術講習会（11月）
 - ・独占禁止法に関する研修会（11月）
- 東北支部
 - ・次代を担う技術者研修会（12月）
- 関東支部
 - ・コンプライアンス勉強会（11月）
- 中部支部
 - ・小学校へのお出前授業（8月）
- 関西支部
 - ・講師派遣（11月、2月）
- 中国・四国支部
 - ・日本技術士会共催講習会（8月）
 - ・日本ダクタイトイル鉄管協会共催講習会（10月、11月）
- 九州支部
 - ・技術講習会（11月）
 - ・講師派遣（7月、3月）



第二期中期行動計画パンフレット



「水コンサルタントになろう」改訂版



日本ダクタイトイル鉄管協会共催講習会
(中国・四国支部)

1 調査研究

1. 調査研究（独自）

座談会の実施、業務成果の情報発信などを行い、得られた成果についてはHPへの掲載などの方法により情報公開しています。

2. 広報誌「水坤」の発行

広報誌「水坤」を発行し、会員各社への配布、地方公共団体、大学等の教育機関、国会図書館等への寄贈をしました。

◆ 夏号特集テーマ：「気候変動を踏まえた上下水道事業のあり方」
（令和2年8月発行）

◆ 新春号特集テーマ：「ウィズ・コロナと上下水道～新しい時代へ～」
（令和2年12月発行）



水坤 2021年新春号

3. 大学・他団体の実施する調査研究への参画・支援（受託調査研究）

日本下水道協会（下水道用歩掛検討委員会歩掛改定に伴う調査設計補助業務等）、日本水道協会（水道施設耐震工法指針・解説の改訂調査業務）、北海道大学（広域水管理に関するデータ収集）の合計12テーマについて受託し、主体的に参画・支援しました。この成果は、それぞれの団体から公開され広く活用されています。

4. 委員・講師の派遣

他団体等からの要請を受けて「下水道技術開発会議」、「浄水技術支援委員会」などに委員を派遣し、日本下水道事業団「下水道研修」、地方公共団体など主催の講演会・研修会に講師を派遣しました。

2 要望と提案

1. 国等への提案活動

下水道技術座談会を開催し、国土交通省、事業者と「都市浸水対策のさらなる推進に向けて」について意見交換を行いました。

また、感染症対策及び自然災害の激甚化を踏まえた提案を国土交通省と厚生労働省に対し行い、意見交換を行いました。また、国土交通省とDXに関する意見交換を行いました。日本下水道事業団とウィークリー・スタンス、web会議システムの活用、DXについて意見交換を行いました。



下水道技術座談会

2. 就業環境改善と調達制度の要望

上下水道事業の執行上の課題について、「要望と提案(令和2年度版)」に取りまとめ、主な事業者を持参し改善の要望を行いました。働き方改革関連法が施行され、生産性の高い働きやすい職場づくりが要請されたことを踏まえ、コンサルタントの就業環境改善、成果物の品質確保に資する価格競争中心ではない技術力を評価した調達制度への転換等を要望しました。

3 人材育成

1. 技術研究発表会の開催、技術報告集の発行

定例の技術研究発表会の代替措置として、掲載論文執筆者によるPowerPoint資料の公開・質問・回答を行いました。得られた成果は協会HP掲載などの方法により情報公開しました。成果発表を通じ会員等の技術力向上を図りました。また、技術報告集を発行・ホームページに掲載し、会員成果をアピールしました。

2. 技術講習会、研修会の開催

本部及び各支部において、技術講習会、技術研修会等の公開型講習会を開催しました。また、コンプライアンス研修会、若手研修会なども開催しました。

3. 自己研鑽の奨励（CPD制度の運営）

継続的専門能力研鑽制度のプログラムとして13件を認定し、受講者にCPD受講証明書を発行しました。

4. 次世代人材の育成等

小学4年生を対象に、下水道の仕組みや使い方に関する出前授業を実施しました。

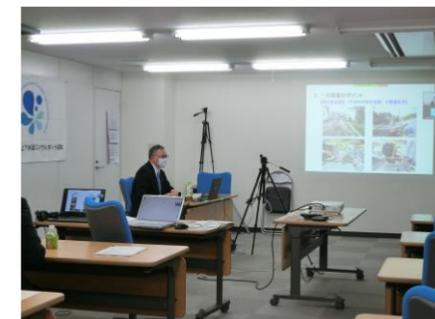


出前授業の様子（中部支部）

4 災害支援

行政のパートナーとしての役割を果たすため、他協会との連携・協働により減災、災害復旧・復興に関する支援体制の整備等を進めています。

- ① 事業者との災害時支援協定の締結など下水道BCP策定において協定に基づく関係団体の支援活動が注目されるなど、水コン協においては、令和2年度末で災害時支援協定の締結が49事例（一括協定を含む）になりました。
- ② 災害時支援者育成講習会
災害等の発生時において災害時支援業務に関する会員の技術力アップを目的として、災害時支援者育成講習会を開催しました。
- ③ 災害時支援ブロック連絡会議、災害時支援全国代表者連絡会議に参加しています。



災害時支援者育成講習会